

カライワシとカイワリの採捕

令和 5 年 10 月 3 日、三枚洲沖で刺網
操業していた港漁協所属の辰宝丸（船
長：鈴木忠之氏）より、珍しい魚が獲れ
たと当協会に連絡がありました。

調べたところ、カライワシ（写真 1：
全長 26.6cm、尾叉長 22.8cm、体重 118
g）とカイワリ（写真 2：尾叉長 14.8cm、
体重 53g）であることがわかりました。
どちらも協会の調査で採捕されたこと
はありませんが、カライワシは平成 20

年 12 月に豊洲運河で芝漁協の石橋二郎氏より刺網による採捕の報告がありました。「マイ
ワシ」や「カタクチイワシ」はニシン目に属していますが、カライワシはイワシの仲間では
なくカライワシ目に属しており、ウナギ等に近いグループでレプトセファルス（柳の葉の形）
幼生期を過ごす魚です。暖海域の魚で千葉県以南の温かい海域に分布しています。

辰宝丸さんによれば、これまでに刺網で混獲されたことがあるそうですが、湾奥では珍
しい魚で、小魚や小さな甲殻類を食べ、普通は 50cm 程ですが大きいものは 1m 以上に成長
するものもあります。



写真 1 カライワシ
(*Elops hawaiiensis*)



写真 2 カイワリ
(*Kaiwarinus equula*)

一方、カイワリはこれまで協会への報
告もなく、初めての記録となります。カ
イワリも熱帯・温帯海域の魚で、アジ科
に属しています。太平洋側では北海道以
南に分布していますが、東京湾奥では珍
しい種類です。

稚魚は前報 (No.78) でお知らせしたイ
ボダイと同様にクラゲに付いて移動す
る習性が知られています。

協会では都漁連水産会館前の京浜運河で水温測定を毎朝行っていますが、今年の 7～9 月
の平均水温は過去 10 か年の平均値に比べ、1.4～2.3℃も高くなっており、とくに 8 月と 9
月は過去 10 年で最も高い平均水温となりました。このような珍しい魚の来遊は、この夏の
高水温が影響しているのかもしれませんが。